

岐阜キリシタン小史(10)—美濃(尾張)キリシタン年表 信長時代—

※この年表は森徳一郎氏著『尾濃切支丹年表』(1935)を基に作成した。右列の日本の主な出来事はこの「小史」の執筆者によるもの。

西暦	和暦	地域区分	キリシタンに関わること	日本の主な出来事
1569	永禄12	尾張 美濃	尾張・花正のコンスタンチノ、常にロザリオを持って祈り、洗礼に勤める。 フロイスが織田信長に謁見。信長は美濃より届いた干無花果(干柿か)をフロイスに与える。 フロイスとロレンソ(了斎、日本人修道士)が岐阜に到着。信長に謁見。信忠、信雄も同席。その後、岐阜城下で連日布教。	●南蛮寺建立のために足利義昭は高札を、信長は朱印状をフロイスに与える
1570	元亀元			●金ヶ崎の戦い ●姉川の戦い
1571	元亀2	美濃	尾張のコンスタンチノ、この10年間に600人に洗礼を授ける。	●信長、比叡山を焼討
1572	元亀3	美濃 尾張	フロイスとカブラルの両宣教師が美濃で布教。コンスタンチノもまた盛んに尾張で布教。	
1573	元亀4 (天正元)	尾張	コンスタンチノら4名が京都の教会を訪ね、教えを聴く。また、ロレンソの派遣を望んだが、戦乱時のため叶わなかった。	●三方原の合戦 ●信長、足利義昭を追放、室町幕府滅ぶ
1574	天正2			●信長、伊勢長島一向一揆を壊滅
1575	天正3			●長篠の合戦
1576	天正4			●信長、安土城築城
1577	天正5	尾張 美濃	コンスタンチノは70歳を超えたが、10人または12人の信者を率いて、しばしば上洛して教会を訪ねる。尾張でも300人に洗礼を授ける。 河内の武士ジョルジ(池田教正?)が美濃在住の日蓮宗徒である母や兄弟を改宗に導く。 宣教師フランシスコが安土城にて信忠に謁見。信忠は安土城下の教会をしばしば訪れ、フランシスコに「岐阜に来るように。岐阜で会堂建築と布教の自由を与える」と伝える。	●信長、正親町天皇より右大臣の宣下を受ける。  安土セミナリオ跡
1578	天正6	安土? 尾張 美濃	信長の三人の子(信忠、信雄、信孝か?)、宣教師オルガンチノより教義を聞く。信忠は既に教義は知っていると言う。 尾張・花正にオルガンチノを招く。岐阜でも布教。	●光秀の三女・玉、細川忠興に嫁す(のちの細川ガラシャ)
1579	天正7	美濃	オルガンチノ、岐阜で布教。信忠は歓待し、美濃尾張の地での布教免状を与え、岐阜に寺院建築の場所を与える。両国で200名の信徒を獲得したが、信忠が出陣することとなり、途中で挫折。	